

第2回九州高等学校少林寺拳法選抜大会申し合わせ事項

- 本「申し合わせ事項」については、実施要項と重複するところもあるが、本大会の準拠すべき諸規則と同等として取り扱うものとする。

1. 選手の服装・頭髪等について

(1) 選手の服装について

実施要項に準ずるものであるが、細部について次に示すところとする。

【服装規定】※少林寺拳法競技規則取扱規則第3章第5条細則服装規定より抜粋

- | |
|--|
| <p>① <u>道衣・帯は少林寺拳法公認のものとし、体格に応じたものを着用する。</u>
<u>※極端に太いズボン</u>は着用しない。
清潔感に留意し、汚れがひどい道衣は着用しない。</p> <p>② 袖章は規定通りのものを着用すること。（役職、資格に応じたもの）</p> <p>③ 道衣の後襟、前襟下方、ズボン前上方に必ず名前を記入すること。
原則として、黒色で名前のみ記す。卍等の刺繍等はしない。</p> <p>④ 道衣の袖や裾をまくりあげないこと。</p> <p>⑤ 上着の袖は「手首と肘の中間」、ズボンの裾は「足首と膝の中間に」位置すること。
〔一般（中学生以上）〕※袖及び裾の長さについて
・<u>袖の位置は、手首の関節から上に5cm以上、肘から下に10cm以上とする。</u>
・<u>ズボンの裾はくるぶしから上に10cm以上、膝から下に10cm以上とする。</u>
※上記の数値については、直立で手を真っ直ぐ下ろした状態でそれぞれの関節中央部から計測した場合とする。</p> <p>⑥ 中学生以上の男性拳士は原則として道衣の下にシャツを着用しない。女性が道衣の下にシャツを着用する場合は、色は白色（※指定のワンポイント入り可）とし、見苦しくないようにする。</p> |
|--|

(2) 頭髪について

①男女共、スポーツ選手らしく、端正な髪形とする。

ア 頭髪の加工（染髪やパーマ等）は一切しないこと。

イ 男子については、極端な長髪（髪形）は避けること。

ウ 女子の髪留め具で、金属製並びにプラスチック製の髪留め具、またリボン等での髪留め具の使用は禁止とする。また男女共、前髪が目にかからないような髪形にしておくこと。

(3) 眼鏡等について

競技中の眼鏡、ハードタイプのコンタクトレンズの使用は禁止とする。

(4) その他・装飾品等を身につけることは、一切禁止とする。

2. 選手の競技前後の立ち居・振る舞い等について

- (1) 各競技ごとにアナウンスの下、各コートまで係員先頭で入場行進を行う。については、係員の指示に従い、凜とした姿勢で行進すること。
- (2) 各コートにて、次番出場者はネクストコーナーに入り、ウォーミングアップをして待機する。但し、気合いを出したり、跳び受身をとったりせず、競技に支障のないよう相対でのアップは可とする。
- (3) コートへの入場は、係より名前を呼ばれたら、凜とした姿勢で元気よく普通に「はい」と返事をして、コートへ礼を行い、姿勢を正してコート中央へ歩いて進む。掛け足はしないこと。
団体演武においては、コート入り口で横一列になり、係より名前を呼ばれたら、代表者が返事を同様に言い、全員が揃って、姿勢を正してコート中央へ歩いて進む。掛け足はしないこと。

- (4) コートへの入退場の際して、一切パフォーマンス的な行動はしないこと。
- (5) コートへ入場後の礼は、演武開始時の礼と演武終了時の礼のみとする。
- (6) コートへ入場したら、適切な間（時）をもって演武開始の礼を行い、演武を開始すること。
不要に長い間（時）をもって礼をしたり、礼をしてからも不要に長い間（時）をもって演武を開始したりはしないこと。

3. 選手の出場取消（棄権）・変更について

選手の出場取消（棄権）・変更が発生した場合、当該校の引率責任者は直ちに大会実行委員会へ届け出を行うこと。その届け出が無い場合は失格扱いとし、出場は認めない。またその該当校の次年度大会への出場も認められない場合もある。尚、出場取消（棄権）・変更が発生した場合は、大会実行委員会への届け出と共に、当該都道府県代表者（委員長又は理事長）へも報告をすること。

〔留意〕※変更については団体演武のみに適用されるものであり、組演武・単独演武は認めない。

また、団体演武で変更を行ったことにより、演武者の最高武階によって使用技が制限されることもある。

4. 諸会議について

- (1) 引率責任者会議について

同会議については、参加校の引率責任者は必ず出席すること。尚、出席については各校1名（引率責任者）が出席するものとする。

5. 大会組み合わせについて

- (1) 予選組み合わせ

12月19日（土）引率者会議終了後に、選手・引率両名が指定された場所に集合し、抽選を行う。

- (2) 決勝組み合わせ

12月20日（日）9：00より選手・引率両名が指定された場所に集合し、抽選を行う。

6. 決勝進出者・組・チーム（予選通過）の発表について

決勝進出者・組・チーム（予選通過）の発表については、全ての種目とも大会2日目（20日午前8時半）に会場内所定箇所において、掲示により発表する。

6. 開会式及び閉会式について

本大会に参加する選手は、開会式・閉会式には全員道衣着用の上、参加することを原則とする。

7. その他

- (1) 本大会の選手の選抜について

各都道府県高体連少林寺拳法専門部及び高校少林寺拳法連盟が主管する予選会を経て選抜され、尚も本大会の参加資格に適応する者を選出する。尚、当該県で上の専門部及び連盟が無い場合は、本大会の趣旨に沿って都道府県少林寺拳法連盟が代務して、その予選会を開催することもある。

予選会については、原則本大会の実施要項・規則・申合せ事項等に準じて行うものとするが、競技方法において開催地の諸事情がある場合は、事前に全国高等学校体育連盟少林寺拳法専門部（大会実行委員会）へ相談の上、変更して実施する場合もある。

- (2) 本大会への質問、疑義・異議の申し立てについて

本大会への質問、疑義・異議の申し立ては、都道府県代表者（高体連専門委員長及び高校連盟理事長）を通じて、文書をもって行うものとする。

但し、審判員等の判定に対しては、一切疑義、異議の申し立ては認めない。